

園便り5月号「3つの約束」の続き。「ありがとうの感謝の気持ち」と「挨拶」について。

お疲れさまでした…。(感謝の気持ち)

交通安全教室を終え、教えてくださった指導員の方々を応接室に案内する時のことです。

「お疲れさまでした。ありがとうございました。」と、Yちゃんの声掛け。それに呼応して、周囲の子たちも、「ありがとうございました。」と、笑顔の見送り。

それを聞いた指導員の方、「ありがとう。今日、おひさまに来てよかった！」

それを受けて応接室では、

「県内の園や学校に移動して行う指導は、正直、疲れることもあります。でも今日は、先の一言で、疲れが全部吹っ飛んでいきました。本当に来てよかったというのが私の感想です。5歳の子が、こんな温かい言葉掛けができることがすごいと思いました。」

一連の動きを見ていた私も指導員の方と同じ思いだったので、その日のお迎え時、保護者の方にお伝えしました。4月に約束した「感謝の気持ち」を伝えることを実践している子どもの姿に、交通教室の充実とともに、「言葉と子どもの力」を再認識する日となりました。



あなたは、どの段階？(挨拶)

小学校では、子どもたちの挨拶が定着してきたら、「相手の目を見て」「笑顔で」「頭を下げて」などが加わり、次の段階へ進むようです。それらを大まかにまとめると、

①挨拶をする。➡②自分から挨拶をする。➡③相手の目を見て挨拶をする。➡④笑顔や頭を下げてなどの動作を加えて挨拶をする。おひさまの園児は、挨拶をすると③や④を返してくれます。その際、無言で悲しい表情や恥ずかしそうに挨拶を返す子どももいますが、いずれも目を見ています。一方、我々は、成長とともに③や④が苦手になるようです。その訳は、言葉が発達し、それを駆使して挨拶ができるようになるからでしょうか。また、「目は口ほどにものを言う。」と言われるように、目を合わせると自分の思いや考えを見透かされるような気になるのではないのでしょうか。

さて、自分の挨拶は、①～④のどの段階ですか。私は、③に近づいているところか…。園でも職場でも、家庭でも、園児に負けないように③や④ができるようお互い頑張りましょう！

